



国立大学法人

京都教育大学

KYOTO UNIVERSITY OF EDUCATION

# 情報処理センター一年報

## 2024

2025年10月

京都教育大学情報処理センター

# 目 次

はじめに 情報処理センター長 多田 知正

## 2024 年度情報処理センター利用結果

2024 年度利用状況	1
情報処理センター利用授業時間割表、2024 年度集中講義など	11
2024 年度IPC NEWSの発行状況	14
2024 年度行事日誌	16
情報処理センター関連委員会等歴代委員	18
編集後記	19

## はじめに

情報処理センター長 多田 知正

インターネットで膨大な量の情報に簡単にアクセスできるようになった反面、フェイクニュースをはじめとした偽情報や誤情報の氾濫が大きな問題になっています。ただ、これはインターネットの欠陥というより、「誰でも情報発信できる」というインターネット最大の特徴の裏返しであり、本質的には避けられないものではないかと思います。

私たちも、以前は迷惑メールに対して「怪しいメールに騙されないよう気をつけましょう」という注意喚起をしてきましたが、最近では、外見では偽メールを区別することはほぼできなくなっています。しかも最近では、画像や音声、動画までも作成できてしまう生成 AI の台頭によって、より巧みな偽情報を簡単に作り出すことができるようになっており、ネット上に氾濫する偽情報を見抜くことはますます難しくなっています。

このような時代に私たちはどのように対応していけば良いのでしょうか。矛盾しているようですが「自分は絶対騙されないぞ」という頑なな態度はかえって危険なのではないかと思います。もしも騙されてしまったときに、そこから抜け出せなくなってしまうおそれがあるからです。人は誰でも「自分の間違い」を認めたくないものです。騙された自分の「愚かさ」を直視するのは辛いですし、簡単に考えを変えると、「あいつは言うことがコロコロ変わって信用できない」と思われるという恐怖もあります。しかしこのような「自分を否定したくない」という感情は、騙されていることに気づきにくくさせるばかりか、下手をするとカルト宗教の信者のように「騙され続けていたい」という精神状態に陥らせてしまうことすらあります。

現在では、ネットの偽情報に騙されることは「あってはならないこと」ではなく、むしろ「あって当たり前」というのが現実だと思います。騙されるのは仕方がないとして、そこからどうやって抜け出すのが重要になります。私自身もネットの偽情報には何度も騙された経験がありますが、ネットには「偽情報を否定する情報」も存在し、それにより騙されていることに気づくことができました。思っていたらそれもやっぱり嘘だったなんてこともよくあるのですが、そうこうしているうちにだんだんと「騙され慣れ」てきたように思います。自分の信じていたものが嘘だとわかってあまりショックを受けなくなった(むしろちょっと楽しい)という感じでしょうか。

考えてみれば、新しい知識を得て自分の価値観がひっくり返ることは、実は「学び」の醍醐味であり、「愚かだった自分」に気づくことは、成長の証でもあります。結局のところ、ネットの偽情報に対抗する最も有効なツールは「常に学び続ける態度」なのかも知れません。

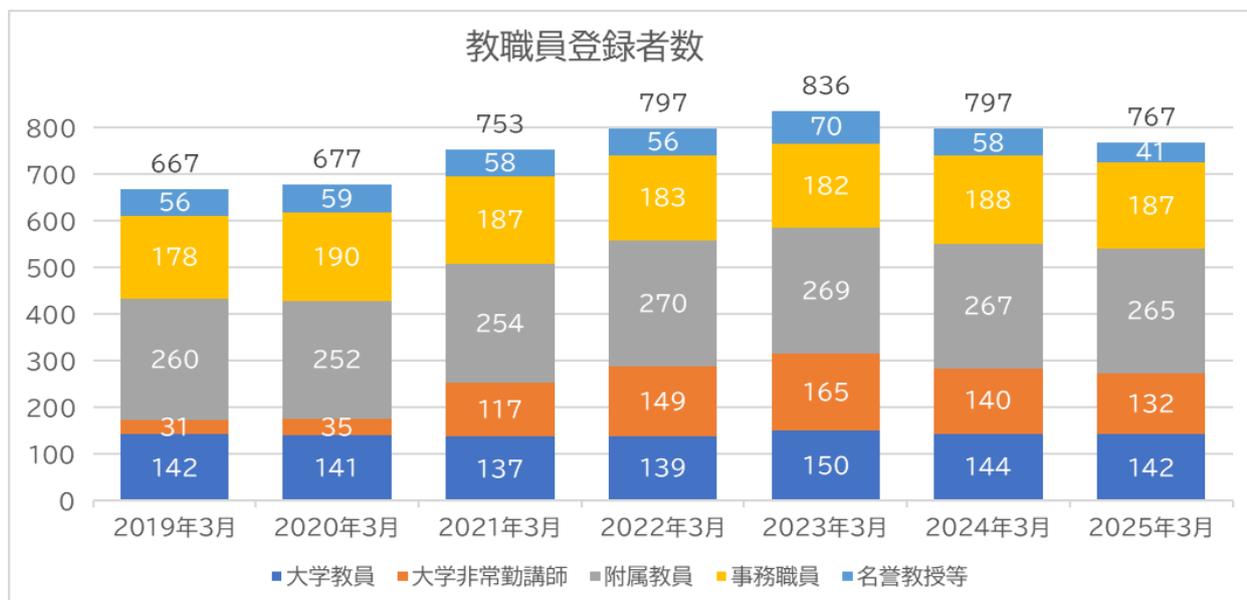
2024年度  
情報処理センター  
利用結果

# 2024 年度利用状況

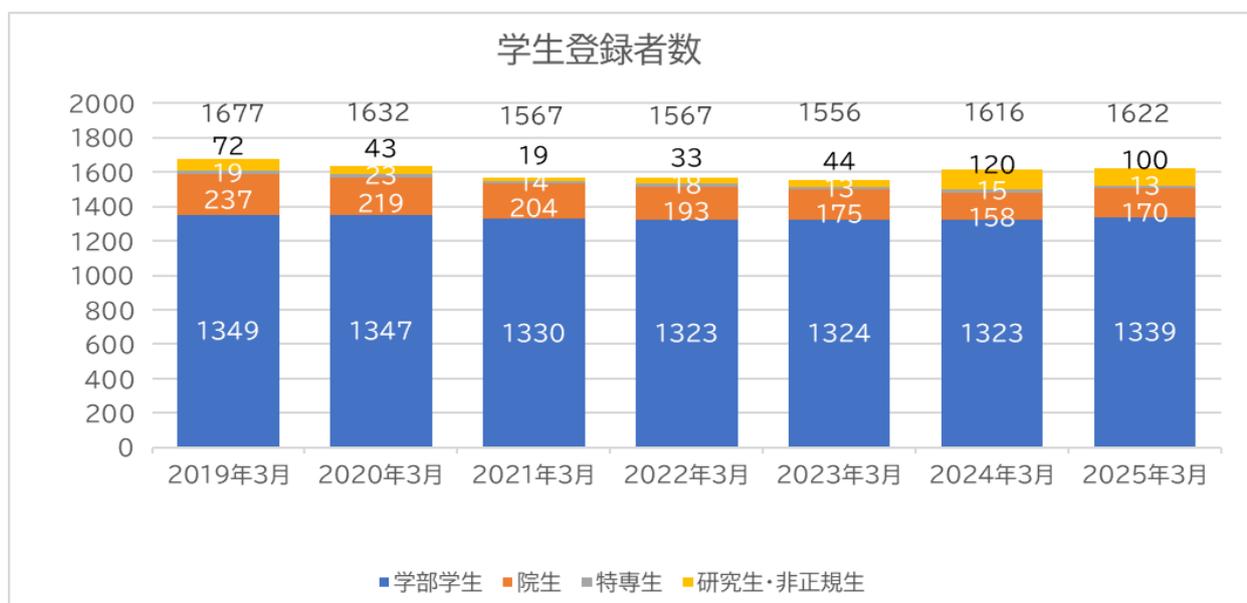
## §1. 電子メール

(1) 電子メール登録者数(人)(2025.3.31 現在)

常勤大学 教員	大学非常 勤講師	附属教員 (非常勤含)	事務職員 (非常勤含)	名誉教授 等	学部学生	院生	特別専攻 科生	研究生・ 非正規生	合計
142	132	265	187	41	1,339	170	13	100	2,389



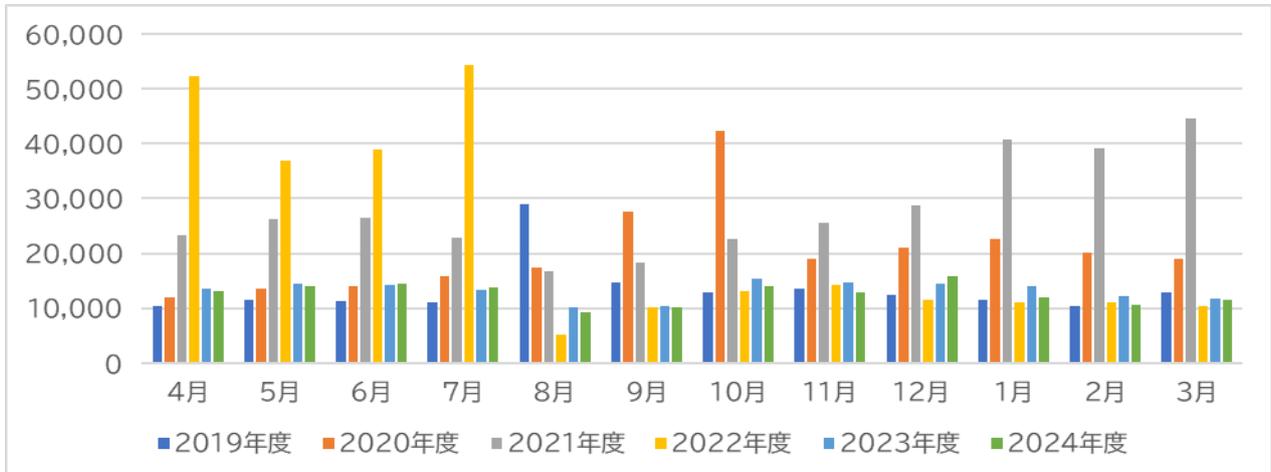
常勤教職員は着任時に大学から付与している。2020 年度の新型コロナウイルス以降、一部の授業をオンライン化したために、大学非常勤講師の登録者数が大幅に増加している。また、2024 年度にアカウント整理が行われ、「名誉教授等」の項目は名誉教授のみがカウントされている。



学部生・院生・特専生は入学時に自動登録されている。2023 年度以降は非正規生等も履修が確定した時点で自動登録するようになり、全学生が登録されている。2022 年度に大学院が連合教職実践研究科に統合され、定員が減少した。

(2) 電子メール送受信数(件/日)(2024.4-2025.3)

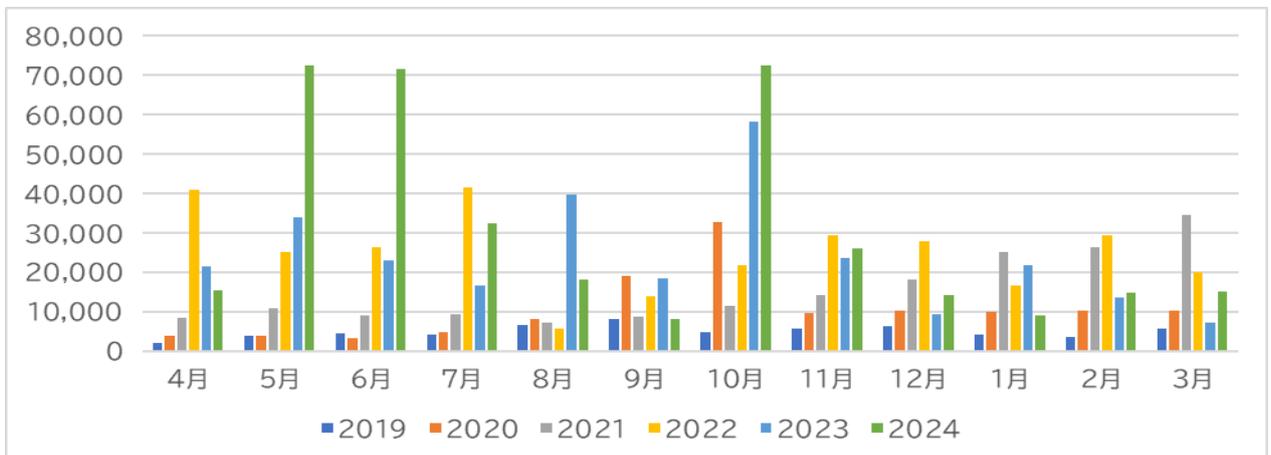
4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
13,141	14,065	14,491	13,799	9,297	10,209	14,013	12,991	15,848	11,921	10,553	11,545



1日あたりのメール送受信数を示す。2019年度8月の送受信数が他の月に比べて大きく増加しているが、システム不具合によるものである。2020年度は新型コロナウイルスに関する連絡等によりメール送信数が例年に比べて増加している。2021年度は全体的に増加傾向にあり、2022年1月以降は例年の倍近くになっている。2022年8月にシステム更新を行い、集計方法の変更を行ったため、2022年7月以前と2022年8月以降では件数に大幅な差が出ている。

(3) メール受信拒否数(件/日)(2024.4-2025.3)

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
15,382	72,367	71,399	32,390	18,182	8,103	72,552	25,899	14,131	8,978	14,912	15,017



1日あたりのメール受信拒否数を示す。ブラックリストに登録されたIPアドレスからの送信やメール本文にブラックリストに登録されたURLが記載されている、送信元ドメインが信頼できない、SPFチェックに失敗した、などの理由により受信そのものを拒否することでスパムメールやウィルスメールの受信を抑制している。統計を取り始めた2018年以降、年々増加している。2022年8月のシステム更新時に不具合があり、8,9月については減少している。2024年度は5,6,10月に受信拒否数が大幅に増加しているが、いずれも送信元ドメインが信頼できないことが原因であるものが大半を占めていた。

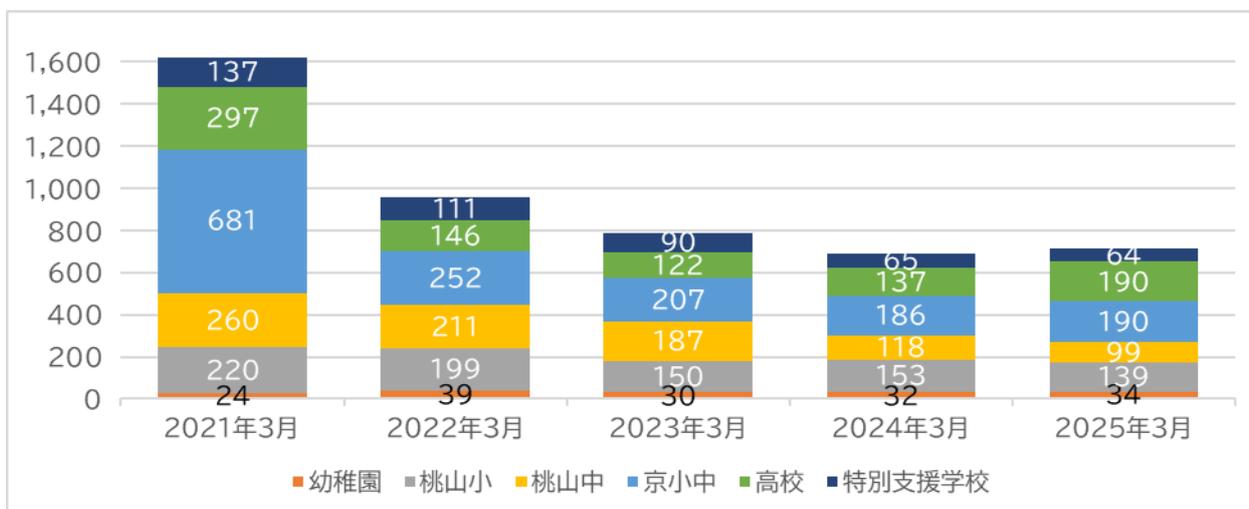
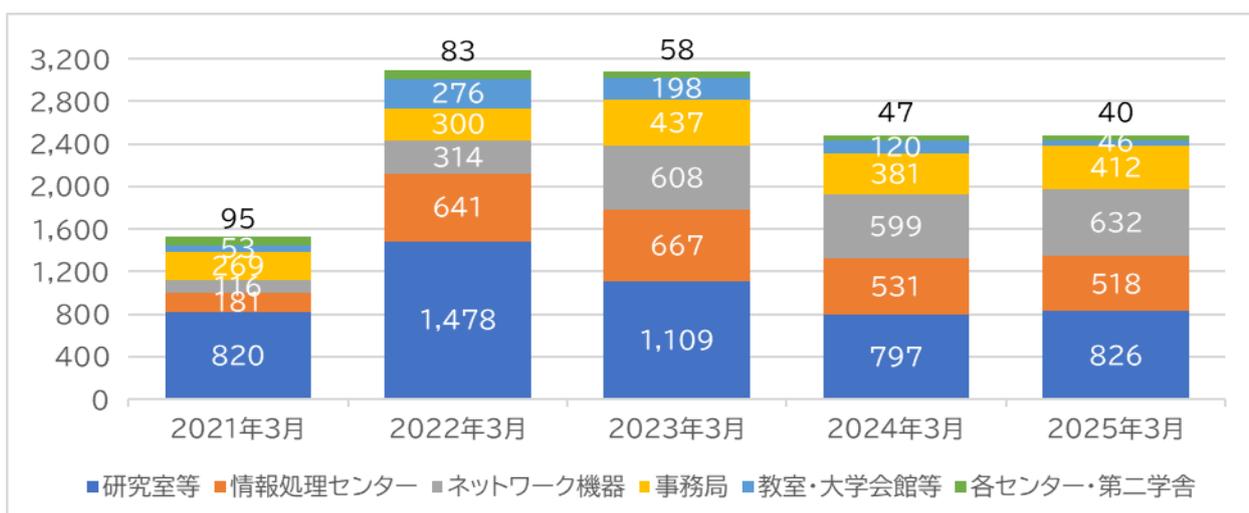
(4) メールサーバ利用者用ディスク使用量(2025.3.31現在)  
利用者領域(/zimbra) 総容量 3.0TB 使用率 76.0%

## §2. ネットワーク

(1) 認証ネットワーク(KUENET)接続クライアント数(2025.3.31 現在)

研究室等	826	教室・大学会館等	46	桃山小	139	特別支援	64
情報処理センター	518	各センター	40	桃山中	99		
ネットワーク機器	632	第二学舎	8	京小中	190		
事務局	412	幼稚園	34	高校	190		

総計 3,190

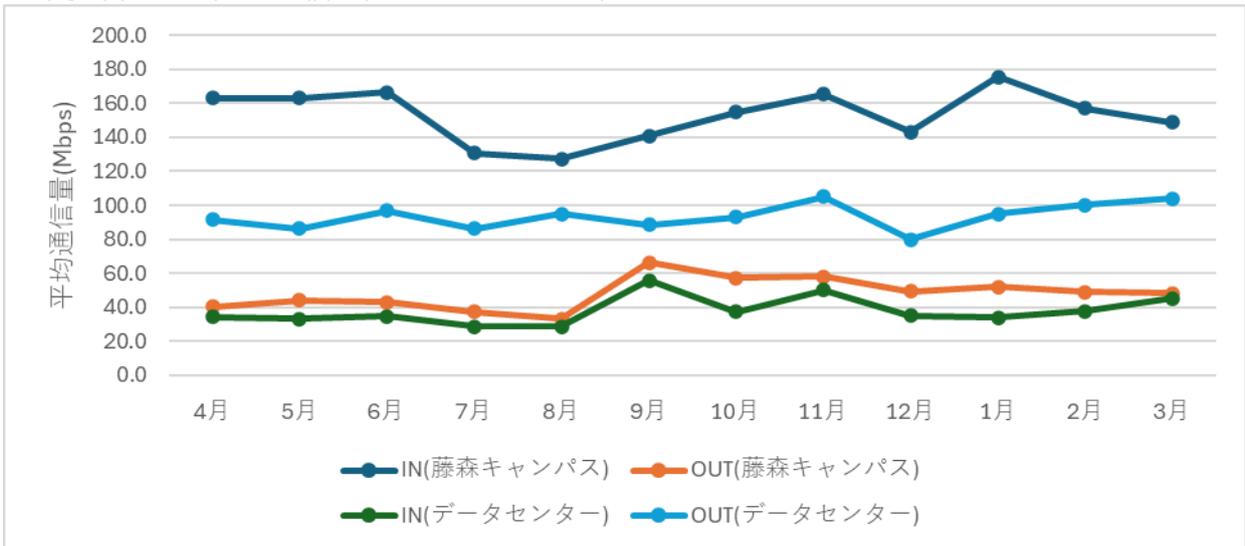


学内すべての研究室・講義室・演習室・事務室に情報コンセントが敷設されており、一部の建物を除いた藤森キャンパス内では、認証ネットワークへと移行済みである。無線 LAN についても、教職員向けは認証 LAN と統合済みで、学生および附属学校児童向けは別のインターネット回線直結として学内から分離した。学内から分離した無線 LAN のクライアント数は含まれていない。また、2021 年度に認証ネットワーク登録端末管理システムを更新し、管理されていなかった端末の登録と登録区分の見直しを行った。さらに、2023 年度には旧システムから移行された端末のうち、現存が確認できなかった登録端末を整理した。

(2) トラフィック状況

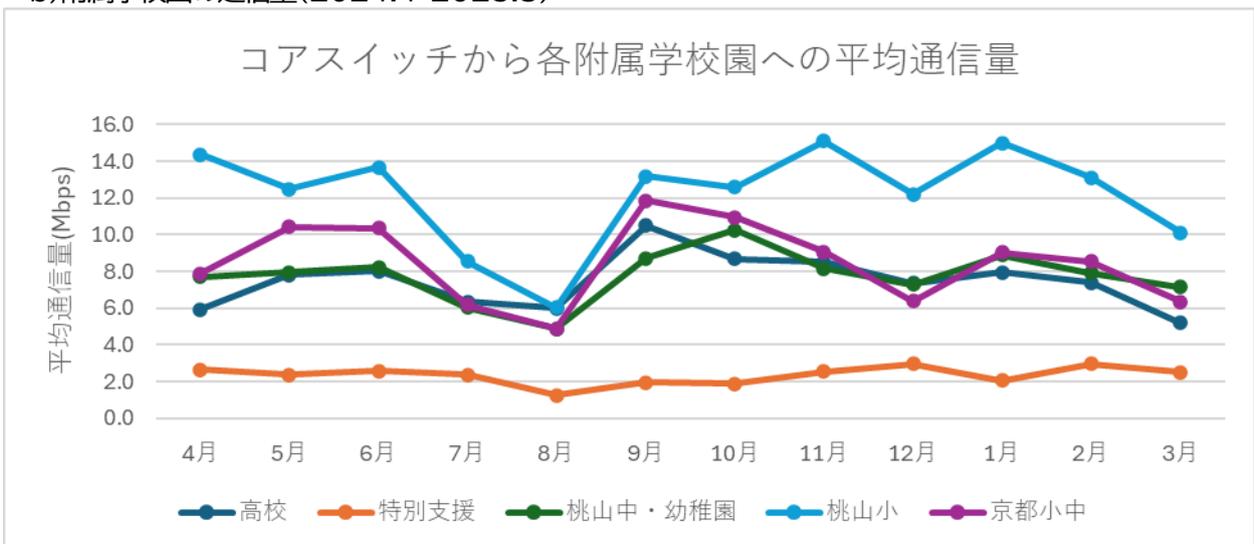
平成 26 年 2 月より学内基幹部を 10Gbps で接続し、末端部まで 1Gbps で接続できるようにした。令和 3 年 3 月に GIGA スクール構想により、各附属学校園と大学を結ぶ回線を 1Gbps の専用線、大学と SINET を結ぶ回線を 10Gbps にそれぞれ増強した。

a) 学外(SINET)との通信量(2024.4-2025.3)

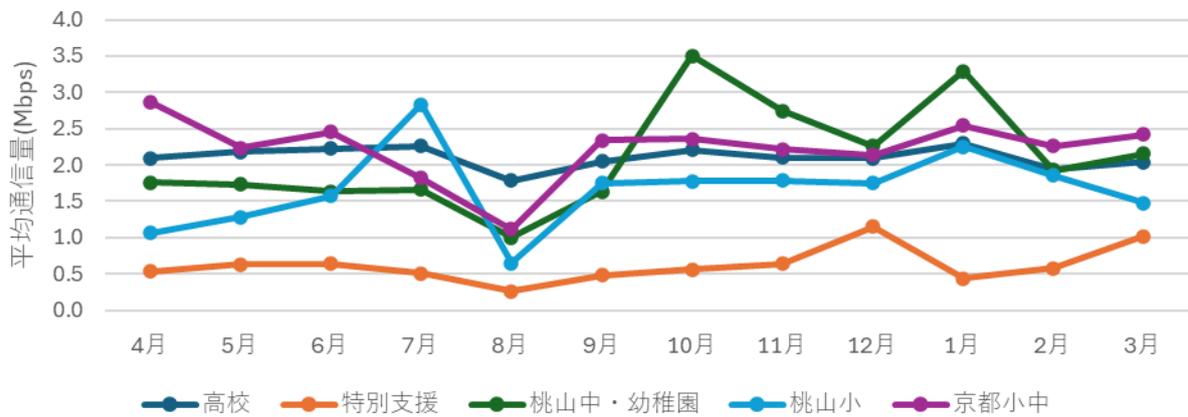


グラフは 1 カ月の平均通信量を月ごとに示したものである。

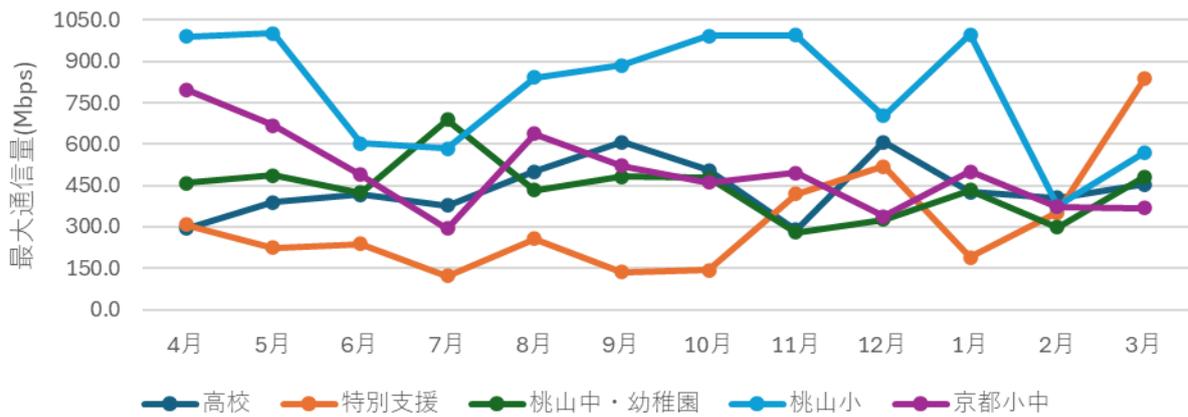
b) 附属学校園の通信量(2024.4-2025.3)



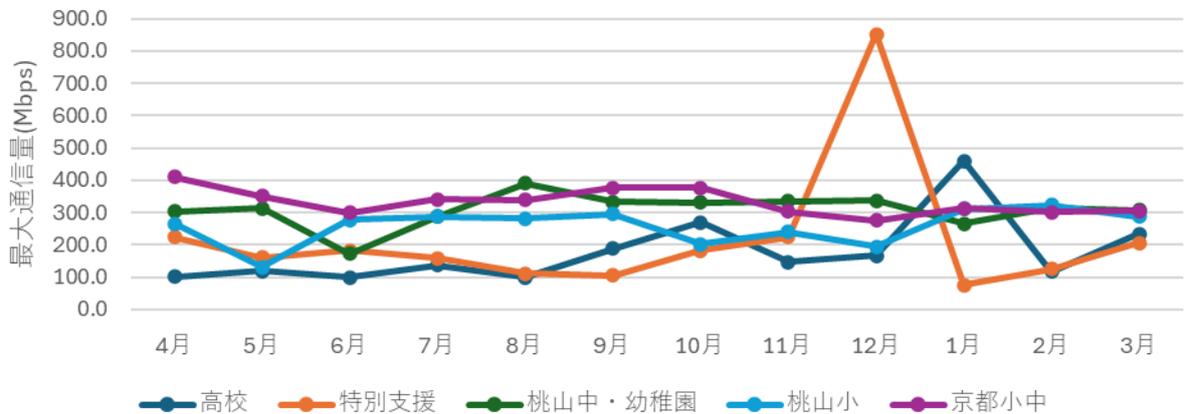
各附属学校園からコアスイッチへの平均通信量



コアスイッチから各附属学校園への最大通信量



各附属学校園からコアスイッチへの最大通信量

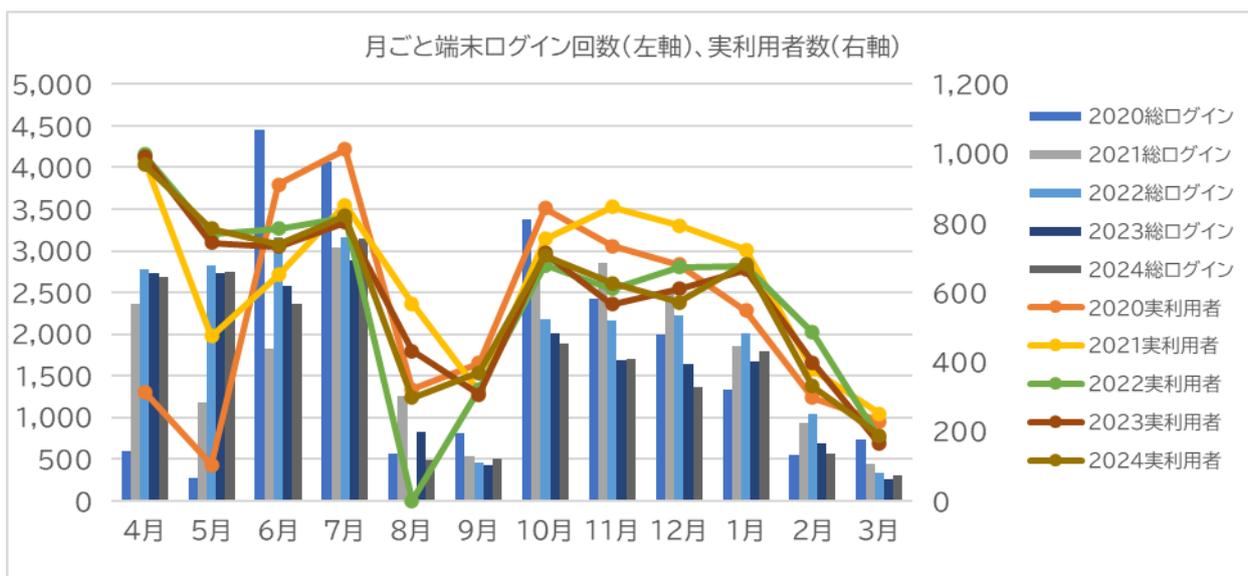


グラフは基幹コアスイッチと各附属学校園との1カ月の平均通信量および最大通信量を月ごとに示したものである。附属幼稚園への通信は桃山中学校を經由して行われている。平均通信量で見るとさほど高くは無いが、桃山小学校への最大通信量が回線上限である1Gbpsに達している月が多い。

### §3. 端末室利用

(1) 端末室パソコン利用者数 総ログイン数(実利用者数)(2024.4-2025.3)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
総ログイン数	2,689	2,751	2,369	3,150	489	505	1,888	1,701	1,371	1,801	574	304
実利用者数	968	784	738	820	297	369	707	627	571	682	330	188



総ログイン数は毎月の利用延べ人数を指し、実利用者数が重複のない利用人数を表す。2020年度は緊急事態宣言に伴う休講の影響で利用者数が大幅に減少したが、2021年度以降はほぼ同程度の利用状況である。2022年8月はシステム更新により集計ができておらず、9月は更新後のテストを兼ねた仮開館を行ったため利用者数は少ない。

近年、利用者・総ログイン数ともに減少傾向にある。平成29年度年報のパソコン利用状況アンケートの集計結果において、自分専用のパソコンを持っている人が90%近く居た。大学への持ち込みという観点でも週5日以上が15%、2日以上なら34%ある。また、新型コロナウイルスに伴い全学生に行った調査によると、自宅にネットワーク環境がある学生は95%にものぼる(回答率約65%)。以上のことから、端末室の需要が減っていることが推測される。

(2) 端末室授業利用コマ数(2024年度)

前期 17コマ 後期 14コマ 集中授業 17コマ



隔年開講授業の関係で奇数年度の前期は授業利用が多い傾向にあるが、全体として、新型コロナウイルス以降、授業利用は減少傾向にある。

#### §4. 貸出機器利用数

##### (1) 館外貸出

端末室以外での授業利用として、Chromebook 20台を貸し出している。

月ごと機器利用延べ台数		(台)	
2024年4月	45	2024年10月	172
2024年5月	375	2024年11月	194
2024年6月	302	2024年12月	216
2024年7月	195	2025年1月	122
2024年8月	118	2025年2月	78
2024年9月	20	2025年3月	2

##### (2) 館内貸出

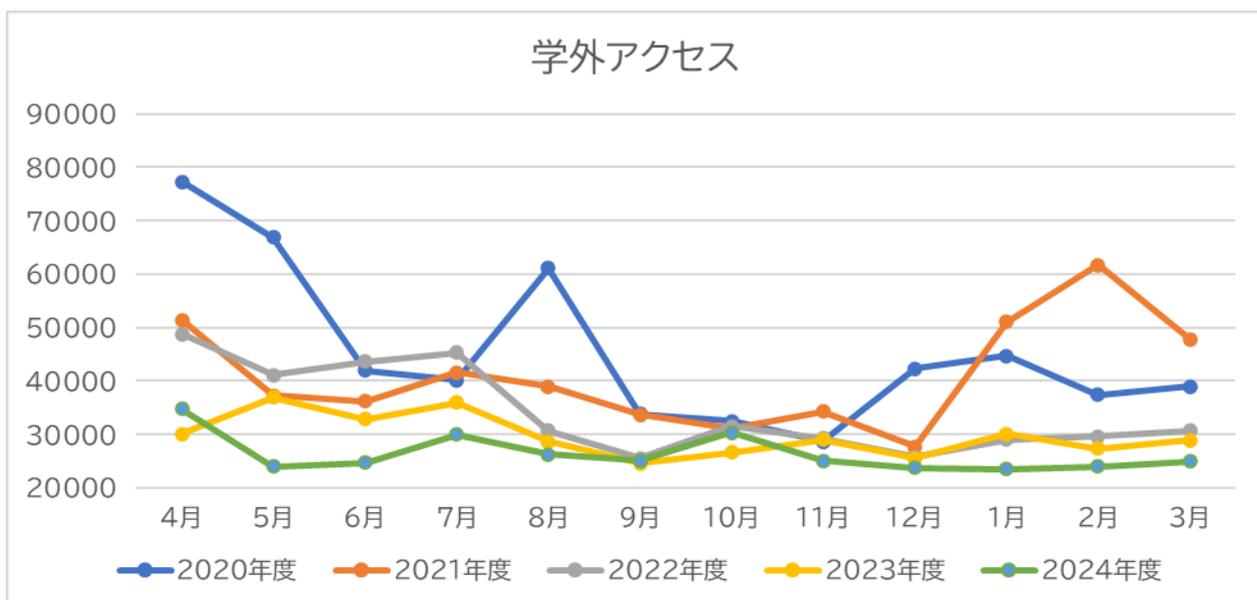
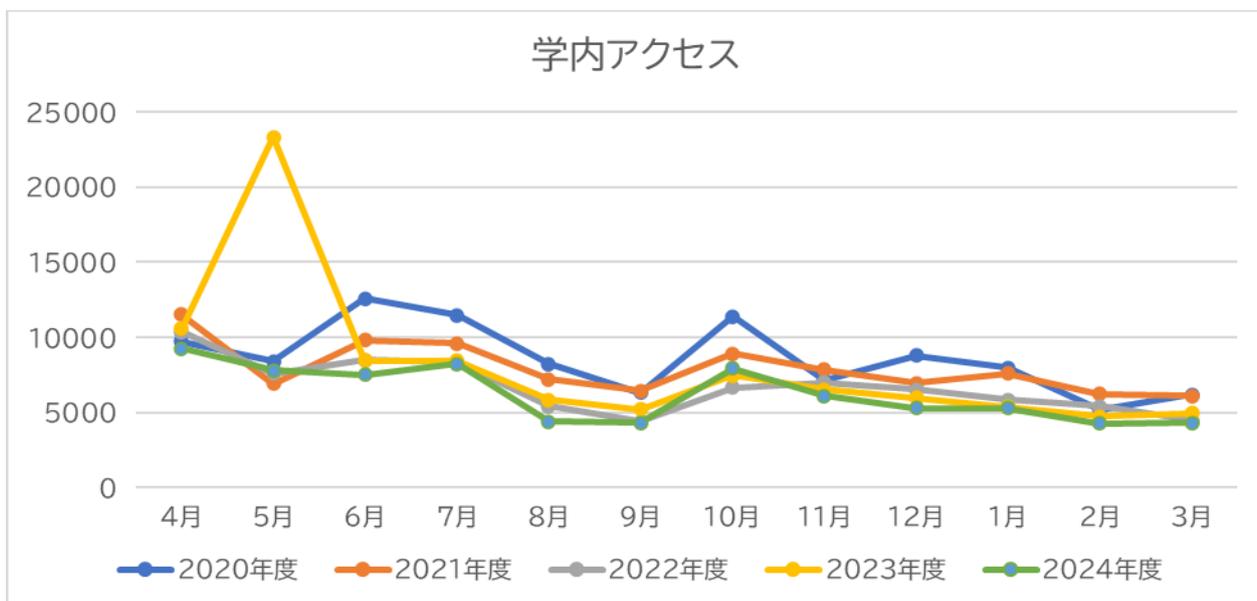
カードR/W 1回

Mac キーボード&マウス 1回(2025年2月17日にこの貸出は終了しました)

ポータブルブルーレイドライブ(データ用) 1回      ブルーレイ・DVD 映像再生プレイヤー 0回

ヘッドセット 1回      ヘッドホン 19回      ネットスピーカー 0回

## § 5. 京都教育大学ホームページアクセス数(トップページ)



トップページの学内からのアクセス数と学外からのアクセス数を示す。本学のホームページは、セキュリティ上、学内からのアクセス用と、学外からのアクセス用を区別して別サーバに格納している。両者の内容は、毎日自動的に学内から学外へコピーされるので全く同じである。なお Web クローラー (bot や spider) からのアクセスは除外して集計している。

## § 6. 学内一括送信配信数

本学では学内教職員、学生に対して周知の迅速化及び徹底化を図るため、周知内容を各部署から情報化推進委員会に依頼し、区分ごとに電子メールで送付する一括送信サービスを行っている。2024 年度に依頼された区分ごとの一括送信数は以下の通りである。依頼元は主に学内委員会、事務局、附属センターである。なお、一括送信システムの更新を行い、2019 年度より区分の設定が柔軟に行えるようになった。2024 年度は 5 月に送信区分の見直しを行ったため、新旧の区分での一覧を示す。

区分	件数
A1. 全アカウント一括送信	45
A2. 全構成員一括送信	77
A3. 全教職員一括送信	48
A4. 全大学教員一括送信	45
A5. 全附属教員一括送信	6
A6. 全職員一括送信	12
A7. 全学生一括送信	36
A8. 全学部・大学院・専攻科学生一括送信	9
B1. 教職員就業規則適用大学教員一括送信	33
B2. 教職員就業規則適用附属教員一括送信	10
B3. 教職員就業規則適用職員一括送信	7
B4. 非常勤職員就業規則適用職員一括送信	6
C1. 教育学部教授会構成員一括送信	5
C2. 学校臨床系教授会構成員一括送信	0
C3. 教科研究系教授会構成員一括送信	0
C4. 人事教授会構成員一括送信	0
D1. 全組織アドレス一括送信	1
旧 A. 全構成員一括送信	10
旧 B. 全教職員一括送信	6
旧 C. 全教員一括送信	0
旧 D. 大学教員一括送信	10
旧 E. 附属教員一括送信	0
旧 F. 職員一括送信	0
旧 G. 全学生一括送信	4
旧 H. 学部生一括送信	0
旧 I. 院生一括送信	2
旧 J. 教職院生一括送信	0
旧 K. 特専生一括送信	0
旧 L. (D. 大学教員一括送信) + (E. 附属教員一括送信)	2

旧 M.(D.大学教員一括送信)+(F.職員一括送信)	1
旧 N.(D.大学教員一括送信)+(E.附属教員一括送信)+(F.職員一括送信)	0
旧 O.(D.大学教員一括送信)+(F.職員一括送信)+(G.全学生一括送信)	0
旧 P.(D.大学教員一括送信)+(G.全学生一括送信)	1
旧 Q.(D.大学教員一括送信)+(E.附属教員一括送信)+(F.職員一括送信)+(G.全学生一括送信)	0
旧 R.専任大学教員一括送信	0
旧 S.大学非常勤講師一括送信	0
	376

## § 7. インターネット配信

動画ストリーミング配信システムにより、学内の主な行事を動画配信している。インターネット配信のページは本学のホームページから開くことができる。2024 年度に配信した学内行事を以下に示す。

2024 年 4 月 8 日 入学式

2025 年 3 月 25 日 卒業式

情報処理センター利用授業時間割表（2024年度前期）

		月	火	水	木	金
1 限	1 室	情報機器の操作(a) 浅田 瞳		情報メディアの活用(a) 西尾 純子	情報機器の操作(e) 多田 知正	電子計算機 奥村 真善美
	8:45 2 室	情報機器の操作(a) 浅田 瞳		情報メディアの活用(a) 西尾 純子	情報機器の操作(e) 多田 知正	電子計算機 奥村 真善美
	10:15 3 室					
2 限	1 室	情報機器の操作(b) 浅田 瞳		情報機器の操作(g) 伊藤 伸一		
	10:30 2 室	情報機器の操作(b) 浅田 瞳		情報機器の操作(g) 伊藤 伸一		
	12:00 3 室	製図 赤井 淳嗣				
3 限	1 室	情報機器の操作(C) 浅田 瞳				
	12:50 2 室	情報機器の操作(C) 浅田 瞳				
	14:20 3 室					
4 限	1 室	情報機器の操作(d) 伊藤 伸一	情報機器の操作(f) 多田 知正		数理・データサイエンス・AI 多田 知正	
	14:35 2 室	情報機器の操作(d) 伊藤 伸一	情報機器の操作(f) 多田 知正			
	16:05 3 室	教育統計学演習Ⅱ 赤松 大輔	プログラミング基礎Ⅱ 石垣 祐輔		教育心理学実験Ⅱ 田爪宏二/赤松大輔	教育心理学実験ⅠA 田爪宏二/赤松大輔
5 限	1 室					
	16:20 2 室					
	17:50 3 室				教育心理学実験Ⅱ 田爪宏二/赤松大輔	教育心理学実験ⅠA 田爪宏二/赤松大輔
6 限	1 室					
	2 室					

情報処理センター利用授業時間割表（2024年度後期）

		月	火	水	木	金
1 限	1 室			公立学校等訪問演習（体育） 岡田 雄樹		
	8:45 ～ 10:15			公立学校等訪問演習（体育） 岡田 雄樹		
	2 室					
2 限	1 室			公立学校等訪問演習（体育） 岡田 雄樹		生活情報処理 権 眞煥
	10:30 ～ 12:00			公立学校等訪問演習（体育） 岡田 雄樹		
	2 室		中等工業科教育Ⅰ 赤井 淳嗣			
3 限	1 室	化学基礎実験(a)10/15（月曜日の振替）のみ 向井 浩				
	12:50 ～ 14:20					
	2 室					
4 限	1 室	化学基礎実験(a)10/15（月曜日の振替）のみ 向井 浩	プログラミング基礎Ⅰ 石垣 祐輔		教育統計学演習Ⅰ 西山 慧	学校教育と生活工学 権 眞煥
	14:35 ～ 16:05		プログラミング基礎Ⅰ 石垣 祐輔			学校教育と生活工学 権 眞煥
	2 室	バイオメカニクス （10/28,12/23のみ） 小山 宏之				教育心理学実験Ⅰ B 田爪宏二/赤松大輔
5 限	1 室		情報メディアの活用(b) 西尾 純子			
	16:20 ～ 17:50		情報メディアの活用(b) 西尾 純子			
	2 室		情報メディアの活用(b) 西尾 純子			教育心理学実験Ⅰ B 田爪宏二/赤松大輔
6 限	1 室	教育実践研究セミナー （11/11～） 田爪 宏二				
	2 室					
	3 室					

**2024年度 集中講義など**

授業名	担当教員	端末室	日程
日本語アカデミックスキル	上田安希子	3	7/10(水)3~4限
日本語アカデミックスキル	上田安希子	2	7/17(水), 7/24(水), 7/31(水)各3~4限
情報基礎実験	飯間 等	1	11/13(水), 12/11(水)各3~6限
情報基礎実験	多田 知正	3	2/13(木)1~5限

## 2024 年度 IPC NEWS の発行状況

2024 年度は、IPC NEWS No.329(2024 年 4 月 1 日)から No.339(2025 年 3 月 3 日)まで合計 11 回発行しました。これらのニュースでは、各月の行事予定について利用者に知らせるとともに、計算機利用、ネットワーク利用についての様々な学内への情報提供を行なっています。

各月の主だった内容は以下の通りです。(行事予定、前月の再録は省いてあります。)

### No.329 入学式の映像配信について

研究室 PC のネットワーク接続について  
情報機器の引き継ぎ(情報漏洩の防止)について(教職員)  
KUE WiFi の通信速度について  
利用者ガイド記載内容に関するご質問について  
各種申請について  
指導員補助員募集のお知らせ  
本学におけるメール統計(2024 年 2 月までの集計)  
情報処理センター端末室利用統計(2024 年 2 月までの集計)  
情報処理センター利用授業時間割表(2024 年度前期)

### No.330【注意喚起】メールの転送設定について

館内への飲食物持ち込み禁止について  
端末室での私物 PC 利用時の液晶ディスプレイ利用について  
貸し出し機器について  
本学におけるメール統計(2024 年 3 月までの集計)  
情報処理センター端末室利用統計(2024 年 3 月までの集計)

### No.331【予告】停電に伴う学内ネットワーク及びシステムの停止について

端末室の備品の使用について  
本学におけるメール統計(2024 年 4 月までの集計)  
情報処理センター端末室利用統計(2024 年 4 月までの集計)

### No.332 後期の端末室授業利用申請の変更、修正について(教員)

自然災害等による臨時休館について  
端末室の自習利用について  
本学におけるメール送受信数データ(2024 年 5 月までの集計)  
本学におけるウィルス発見件数(2024 年 5 月までの集計)

### No.333 端末室 3 エアコンの修理完了について

本学におけるメール送受信数データ(2024 年 7 月までの集計)  
本学におけるウィルス発見件数(2024 年 7 月までの集計)

### No.334 情報処理センター年報の発行について

端末室 2 窓ガラス破損について  
トイレの修理完了について  
本学におけるメール送受信数データ(2024 年 8 月までの集計)  
本学におけるウィルス発見件数(2024 年 8 月までの集計)  
情報処理センター利用授業時間割表(2024 年度後期)

### No.335 2025 年度授業利用申請について(教員)

2025 年度指導員募集のお知らせ  
退職・転職する教職員のメールアドレス削除について  
大判プリントサービス終了について  
授業で使用する紙資料の印刷について  
貸出機器の取り扱いについて  
ノート PC 定期貸出予約について  
本学におけるメール送受信数データ(2024 年 9 月までの集計)

- 本学におけるウィルス発見件数(2024年9月までの集計)
- No.336 入館時の玄関マット使用について
  - 本学におけるメール統計(2024年10月までの集計)
  - 情報処理センター端末室利用統計(2024年10月までの集計)
- No.337 学生用新無線 LAN サービス(EDUNET)の提供開始(仮運用中)について
  - 端末室利用時の寒さ対策ならびに感染症予防について
  - 本学におけるメール統計(2024年11月までの集計)
  - 情報処理センター端末室利用統計(2024年11月までの集計)
- No.338 来年度授業利用申請の変更, 修正について(教員)
  - [予告]来年度以降の非常勤講師の照会について
  - 年度替わりに伴うメールアドレスの取り扱いについて
  - 本学におけるメール統計(2024年12月までの集計)
  - 情報処理センター端末室利用統計(2024年12月までの集計)
- No.339 卒業式、入学式の映像配信について
  - 来年度以降の非常勤講師の照会について
  - 情報処理センターサービスアンケートについて(教員)
  - パソコン利用状況アンケートについて(学生)
  - 本学におけるメール統計(2025年1月までの集計)
  - 情報処理センター端末室利用統計(2025年1月までの集計)

## 2024 年度行事日誌

2024 年

- 4月1日 IPC NEWS No.329 発行
- 4月5日 新入生のための学内ネットワーク利用講習会
- 4月8日 入学式インターネット配信, 新入生オリエンテーション
- 4月18日 富士通との定例会議
- 4月24日 4月運用担当者会議
- 5月1日 IPC NEWS No.330 発行
- 5月21日 運営委員会
- 5月22日 5月運用担当者会議
- 5月22日 大学ICT推進協議会 2024 年度通常総会(オンライン)
- 5月30日 富士通との定例会議
- 6月3日 IPC NEWS No.331 発行
- 6月26日 6月運用担当者会議
- 6月27日 第 21 回国立大学法人情報系センター協議会総会(神戸大学)
- 6月28日 富士通との定例会議
- 7月1日 IPC NEWS No.332 発行
- 7月22日 7月運用担当者会議
- 7月30日 運営委員会
- 7月31日 富士通との定例会議
- 8月21日 8月運用担当者会議
- 8月30日 富士通との定例会議
- 9月1日 IPC NEWS No.333発行
- 9月12日~9月13日 第 35 回情報処理センター等担当者技術研究会(香川大学)
- 9月11日 運営委員会
- 9月30日 9月運用担当者会議
- 9月30日 富士通との定例会議
- 10月1日 年報発行
- 10月1日 IPC NEWS No.334 発行
- 10月22日 10月運用担当者会議
- 10月31日 富士通との定例会議
- 11月1日 IPC NEWS No.335 発行
- 11月19日 運営委員会
- 11月25日 富士通との定例会議
- 11月26日 11月運用担当者会議
- 12月3日 IPC NEWS No.336 発行
- 12月11日 大学ICT推進協議会2024 年度年次大会 CIO 部会会議(奈良県コンベンションセンター)
- 12月24日 12月運用担当者会議
- 12月25日 富士通との定例会議
- 12月27日17:00~2025年1月6日 12:00 冬季休館

2025年

- 1月7日 IPC NEWS No.337 発行
- 1月21日 1月運用担当者会議
- 1月20日 運営委員会
- 1月24日 富士通との定例会議
- 2月3日 IPC NEWS No.338発行
- 2月19日 2月運用担当者会議
- 2月27日 富士通との定例会議
- 3月3日 IPC NEWS No.339発行

3月10日 運営委員会  
3月24日 3月運用担当者会議  
3月25日 卒業式インターネット配信  
3月26日 富士通との定例会議

情報処理センター関連委員会等歴代委員

	氏名	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	2025年度
◎運営委員会 ◎委員長(センター長)□(次長)	多田 知正	◎	◎	◎	◎	◎
	権 眞煥	□	○□	○□	□	□
	高嶋 隆一	○				
	牛山 道雄	○				
	丹下 裕史	○				○ (2025年5月1日~)
	比良 友佳理		○ (2022年11月30日まで)			
	武島 良成		○ (2022年12月1日~)	○		
	山口 博明		○	○		
	小松崎 敏				○	○ (2025年4月30日まで)
	オーバーマイヤー・アンドリュース				○	○
	中峯 浩				○	○
事務局	金森 悠一	○	○	○	○	○
	五十嵐 誠	○	○	○	○	○
	高木 亜里子	○	○	○	○	○

## 編集後記

情報処理センターは、日々の学修・教育・研究が「迷わず・速く・安心して」進むよう、確実性を重視し改善を積み重ねてきました。情報がかつてなく流動的になり、誤情報も紛れやすい時代だからこそ、私たちは「一発導入」ではなく、現場の声を起点にした試行と修正の循環を大切にしてきました。ガイドやお知らせを整え、利用前につまずきやすい手順を分かりやすく提示するほか、Google アカウント/Classroom の基本ガイドを整備し、問い合わせの多い項目は『IPC NEWS』と IPC の Web サイトに適宜反映してきました。さらに、学外からの Web メールおよび KUE Cloud 利用時の二要素認証を必須とする方針を周知し、具体的な設定手順も提示しました。また、共用無線回線の適切な使い分けを明確化し、KUENET 管理システムにおける端末登録の手続きや KUE WiFi の特徴を年度初めに再周知するなど、小さな一歩を積み重ねることで、授業・自習の準備にかかる時間と不安を確実に減らせたと考えています。

一方で、AI の普及と社会変化により、大学のデジタル変革は不可欠となり、本学も DX 化を適切に進める必要があります。DX 化の目的は明確です。学ぶ人・教える人が迷わず使える環境を整え、授業や研究の質を高めることや、事務の手作業や手戻りを減らし、本来の業務に集中できる時間を確保すること、データを安全に活用して意思決定を支え、説明責任と透明性を高めること、多様な学び方・働き方に対応し、誰にとっても使いやすいアクセシビリティ(環境)を担保することです。DX 化は「便利さ」にとどまらず、大学の社会的信頼と競争力を支える基盤でもあります。

他方で、私たちが直面している現実的な壁もあります。物価や人件費の高騰により、システムの導入ならびに保守、またソフトウェアライセンスの費用が膨らみ、投資の優先順位に悩む場面が増えました。現行と同等規模のシステムの調達価格は約 1.6 倍に達すると見込まれており、システム更新にあたっては予算内に収めるためにサービスの取捨選択を余儀なくされています。また、DX 化に伴う課題も少なくありません。調達や契約が年次単位で最適化されやすく、長期の運用設計や費用の見通しが立てにくいこと、データの所在・定義・権限が整理されないまま個別システムが増えることで、連携に要するコストとリスクが膨らむこと、加えて、現場への説明・研修・問い合わせ対応といった負担、ならびに合意形成やルール整備、変更管理の難しさも、看過できない課題として残っています。

生成 AI の普及や社会変化により、学修・教育・研究を支える体制を整え、DX 化をより一層進める必要性が高まっています。DX の目標は、難しい言葉を並べることではなく、本学における学ぶ人と教える人が、迷いなく、速く、安全に日常の一歩を踏み出せるようにすることです。IPC は、これからも「安全・安心で、対話的」な運用を軸に改善を続けていきます。今年度も皆さまのご協力に心より感謝申し上げます。来年度も現場に寄り添い、学修・教育・研究の質的向上に貢献してまいります。

多田 知正 権 眞煥  
金森 悠一 五十嵐 誠 高木 亜里子

情報処理センター年報 2024 年度

2025 年 10 月 1 日発行

発行所 国立大学法人京都教育大学  
情報処理センター  
〒612-8522 京都市伏見区深草藤森町 1